

事業シート(令和2年度予算)

41_消防本部_1

事業名	81100 消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「消防・救急体制が整っている」と感じている市民の割合	82.6%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	129,813	126,297	145,823			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金)	1,133	925	909			
その他(消防手数料、白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	18,068	19,330	21,156			
一般財源	110,612	106,042	123,758			
個票枝番	主な事業内容					
	消防本部の運営	116,493	115,312	117,973		
	AED(自動体外式除細動器)の屋外設置、維持管理	13,000	10,808	27,520		
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	320	177	330		
◎1	言語、聴覚障がい者向け緊急通報システムの導入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		169,369
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
181,619	169,369	169,369	23,546	
593	584	584	△ 325	
15,380	16,090	16,090	△ 5,066	
165,646	152,695	152,695	28,937	
査定額	説明			
128,049				
37,860				
330				
3,130				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防署等施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応24件(延べ41回) 防災ヘリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望を行った。 火災出動 20件、救急出動 4,138件、救助出動 38件(平成30年中) AEDの屋外設置 移設32施設、新設20施設
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 AEDを屋外に設置したことで、いつでも誰もがAEDを使用できる環境を整備することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムの適切な保守管理 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。 AEDを屋外に適切に設置する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上 AED(自動体外式除細動器)の屋外設置に必要な経費を計上 緊急通報システムの運用に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

41_消防本部_1

81100

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	81100 消防本部運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防総務課 通信指令係
枝番・内容	1 言語、聴覚障がい者向け緊急通報システムの導入		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	8	消防費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	消防費	内線	2117	
			<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目	1	常備消防費	作成年月	R1.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	言語、聴覚障がい者が、円滑に消防本部への緊急通報を実施することができる。	概要	・スマートフォンや携帯電話からアプリ等を利用した緊急通報を、消防署に設置した専用PCで受信するシステム
----	--------------------------------------	----	---

[参考] H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	3,130
主な経費		
	・システム利用料	
	・説明会時の通訳者謝礼	
対前年度増減額(当初予算)		3,130

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 緊急通報システムの導入 言語、聴覚障がい者への登録説明会 3回	
[スケジュール] 4月 PC及びシステム導入 5月～6月 説明会実施 7月 運用開始	

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81110 消防署運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		27,223	25,998	28,210		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(白川村受託事業収入・消防施設等使用料)	2,059	2,090	2,037		
一般財源		25,164	23,908	26,173		
個票枝番	主な事業内容					
	消防署の維持管理	27,223	25,988	28,210		

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		27,270
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
26,540	27,270	27,270	△ 940	
1,881	2,027	2,027	△ 10	
24,659	25,243	25,243	△ 930	
査定額	説明			
27,270				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(高圧気中開閉器(AOG)取替(大野)、地下タンク油面制御機器取替(本署)、漏水修繕(清見)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	消防本部 予防課	内線	2118							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
高齢者宅防火訪問件数(数値はH27年度からの累計)	3,476件		4,500件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,030	1,007	1,030			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金)	1,030	1,007	1,030			
その他()						
一般財源	0	0	0			
個票枝番	主な事業内容					
	火災予防対策	1,030	1,007	1,030		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		1,035
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,026	1,035	1,035		5
1,026	1,035	1,035		5
0	0	0		0
査定額	説明			
1,035				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査計画(年度)の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(目標値912件、実施966件、特定防火対象物の重大違反5件全ての是正を行った。) ・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講121名、甲種防火管理再講習:開催1回、受講18名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間等実施計画の作成・実施を行った。(保育園児、人力車等協力による火災予防啓発活動4回、文化財防火デー訓練11件、対象物合同訓練21件、危険物施設立入検査228施設) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:92.1%、個別訪問指導:463件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査は目標値を上回っており、特定防火対象物の重大違反5件全ての是正を図った。 ・防火管理講習は目標値以上の受講者があり、防火管理者未選任違反の是正が図られた。 ・各予防運動等における実施計画の内容を達成できた。 ・住宅用火災警報器の設置状況は、全国の設置率(81.6%)と比べ高いが、設置率は微減傾向であり、未設置世帯への設置指導と維持管理の啓発を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査、各予防運動及び防火管理講習は引き続き充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・火災原因調査及び立入査察(違反是正)に対する知識・技術の向上に必要な経費を計上 ・火災予防の啓発等に必要な経費を計上 ・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

41_消防本部_5

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
関係機関との合同訓練回数(年間)	50回		60回

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	15,170	14,815	16,450			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(白川村受託事業収入)	820	837	820			
一般財源	14,350	13,978	15,630			
個票枝番	主な事業内容					
	消防車両・装備等維持管理	15,170	14,815	16,450		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	14,890
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
15,642	14,890	14,890	△ 1,560
1,293	820	820	0
14,349	14,070	14,070	△ 1,560
査定額	説明		
14,890	消防車両維持管理等		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベについては、12本の耐圧検査を実施し、必要な空気ボンベ数を確保した。 消防車両18台の車検整備等を実施し、安全な車両運行及び火災現場等における確実な防護活動を実施した。 緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災航空隊等との訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、大規模な修繕費等の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊等との訓練実施により、現場活動の連携強化と現場対応力の強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の老朽化による修繕への対応が増加傾向にあるため、適正に点検修繕等を実施し、災害時には確実に運用できるよう整備する。 発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、小隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の維持管理に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

41_消防本部_5

81130

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画			
			目	1	常備消防費		根拠計画			
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総会計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
救命講習(AED)修了証所有者数	8,849人		7,000人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		8,300	7,870	8,443		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	8,300	7,870	8,443		
一般財源		0	0	0		
個票枝番	主な事業内容					
	救急救命の推進等	7,970	7,546	8,113		
	気管挿管救命士の育成	330	324	330		

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		8,387
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,167	8,387	8,387	△ 56	
8,167	8,387	8,387	△ 56	
0	0	0	0	
査定額	説明			
8,057	医薬材料費等			
330	1名			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を1名を養成した。 新処置認定救命士を9名養成した。 メディカルコントロール(指導的)救命士2名を養成した。 気管挿管救命士1名を育成した。 公募による普通救命講習を10回開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を343回開催し、合計5,201人が救命講習を受講した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士についても、養成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士及び指導的立場の救命士を養成する。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育履修、必修のポイントの取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画	
			目	2	消防団費					
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・火災をはじめとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努め、市域における災害等の被害軽減による市民の安全、安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の任免 ・報酬、手当等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資器材等の維持管理 ・消防団員の入団促進、確保対策の取組み(H29～)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	260,629	245,533	312,049			
特定財源						
国費()						
県費(女性消防団員充実強化事業費)		168				
その他(退職報償金、公務災害補償費、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	31,900	27,510	58,200			
一般財源	228,729	217,855	253,849			
個票枝番	主な事業内容					
	消防団の運営	260,529	245,433	162,159		
	消防団入団促進	100	100	290		
◎1	消防団員出動手当の拡充			127,600		
◎2	消防団員活動服、安全靴の更新					
◎3	消防団員の自動車運転免許取得への助成					
	県消防操法大会高山市実行委員会負担金			22,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	283,091
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
284,291	283,091	283,091	△ 28,958
34,533	70,050	70,050	11,850
249,758	213,041	213,041	△ 40,808
査定額	説明		
129,731			
260			
139,800			
12,500			
800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訪問等の火災予防活動を行った。 ・花火大会等、各種イベントにおける警備活動を行った。 ・消防団組織等検討委員会において、消防団活動に対する意識調査(アンケート)結果を受け、消防団の行事のあり方を検討した。 ・消防団協力事業所表示制度の認定事業所の拡大に努めた。(認定事業数254件(累計)) ・作成した入団促進DVDを活用した広報活動を行った。(市役所ホール、救命講習の受講者、市内小・中への配布) ・入団促進ポスターを700部作製し、市内の事業所、団車庫などに掲示した。 ・長期にわたる災害活動等に対する特別報酬を新設した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・入団促進DVDの放映やポスターを掲示するなど、消防団員の入団促進、確保に努めた結果、団員数が増加した。(9名の増) ・特別報酬を導入するなど消防団員の処遇改善に努めたが、出動手当の見直しなど引続き処遇改善策の検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画に基づく車両の更新や団車庫の改築や修繕を行うとともに、引続き個人装備品の充実を図り消防団員が災害現場で円滑に活動できる環境づくりに努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 ・消防団員の処遇改善に必要な経費を計上 ・消防団の入団促進策、確保対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
枝番・内容	1 消防団員出動手当の拡充		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充		款	8	消防費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線	2119	
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		2	消防団運営事業費	作成年月	R1.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団活動の実態に即した出動手当を支給し、消防団員の処遇改善を図る。	概要	・消防団員の処遇改善
----	-------------------------------------	----	------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	121,700
	繰越	
	補正等	8,000
	最終	129,700
決算額		124,755
対前年度増減額(決算)		6,019

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	127,600
主な経費	・年報酬 ・出動手当	
	対前年度増減額(当初予算)	
		5,900

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	139,800
主な経費	・消防団員に係る出動手当	
	対前年度増減額(当初予算)	
		12,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・年報酬を個人支給に変更した。 ・長期にわたる災害活動等に対する特別報酬を新設した。
[評価]	<ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたる災害救助活動等に対する特別報酬を新設したほか、出動手当の拡充について検討を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・出動手当の拡充による処遇改善を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・年報酬の支給 ・出動手当の支給 ・出動手当の拡充について各支団へのヒアリングを実施 ・高山市消防団条例及び規則の一部改正を実施
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月 年報酬の支給 ・4月～3月 四半期毎に出動手当を支給 ・9月～11月 各支団ヒアリング ・8月～3月 条例及び規則の改正

事業実績、評価等	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・年報酬の支給 ・出動手当の支給
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月 年報酬の支給 ・4月～3月 四半期毎に出動手当を支給
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・年報酬の支給 ・出動手当の支給
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月 年報酬の支給 ・4月～3月 四半期毎に出動手当を支給

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
枝番・内容	2 消防団員活動服、安全靴の更新		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	8	消防費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線	2119	
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		2	消防団運営事業費	作成年月	R1.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団員の装備品を計画的に更新することで、災害活動における安全の確保を図る。	概要	・消防団員の装備品の更新
----	---	----	--------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,500
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		12,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・新基準活動服・安全靴の更新(3カ年)
[スケジュール]	・新基準活動服・安全靴更新 4月～12月:採寸・発注・納入

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防総務課	
枝番・内容	3 消防団員の自動車運転免許取得への助成		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	8	消防費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線			2119
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		2	消防団費	作成年月			R1.11

事業の目的・概要(Plan)

目的	・平成29年3月12日の道路交通法の改正による準中型免許とオートマチック(以下「AT」という。)限定免許に対して、消防団員の自動車運転免許取得に係る費用を助成することにより、消防団に配備している車両を運転できる消防団員を確保する。	概要	・準中型運転免許の取得費用とAT限定運転免許の条件解除費用を全額補助する。
----	---	----	---------------------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	800
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・市所有の消防団車両を運転するには、準中型免許等が必要となるため、準中型免許等を有しない消防団員に対し準中型免許等の取得費用を助成する。
[スケジュール]	・4月～5月 希望者の事前調査 ・6月～3月 申請の受付、補助決定、補助金の交付

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81300 消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画・消防団車庫整備計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		7,000	6,539	58,640			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(地方債)		6,000	50,000			
一般財源		7,000	539	8,640			
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車庫修繕・撤去等	7,000	6,539	5,500			
	消防団車庫改築			53,140			
	消防署等施設の施設修繕						

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		28,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
33,258	28,300	28,300	△ 30,340	
	25,000	25,000	△ 25,000	
33,258	3,300	3,300	△ 5,340	
査定額	説明			
※				
0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・消防団車庫の屋根塗装修繕を2ヶ所(上宝支団(一重ヶ根・見座))行った。 ・消防団車庫の解体を1ヶ所(久々野支団(坂屋班))を行った。
評価等	・消防団車庫整備は、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。 ・公共施設総合管理計画や消防団車庫整備計画に基づき計画的に整備を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車庫の整備に必要な経費を計上 ・消防署施設の修繕に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81310 消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画				消防計画・消防車両整備計画・消防団車両整備計画
			目	3	消防施設費						
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両(署・団)を適正に配置し、老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・車両整備計画に基づき消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	123,801	121,949	76,000			
特定財源						
国費 (消防施設等整備事業費1/2)	10,698	10,876				
県費 ()						
その他(地方債)	34,000	24,000	25,000			
一般財源	79,103	87,073	51,000			
個票枝番	主な事業内容					
	高規格救急自動車更新	20,500	20,295	20,500		
	救急車積載用高度救命資器材更新	10,301	10,130	10,500		
	消防団車両更新	5,100	50,474	35,500		
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新			7,000		
	消防署車両更新	42,000	41,050	2,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		171,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
224,619	171,000	171,000	95,000	
	6,000	6,000	△ 19,000	
224,619	165,000	165,000	114,000	
査定額	説明			
	※ 消防団車両3台			
	※ 消防団車両積載の資器材一式 2台分			
	※ 救助工作車1台、警防搬送車1台			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・消防ポンプ車CD-I型1台、高規格救急自動車1台を更新し、高山消防署に配備した。 ・小型動力ポンプ付積載車6台を更新し、丹生川支団(坊方班)、清見支団(夏麻班)、荘川支団(六麻班)、一之宮支団(駅前班)、高根支団(上ヶ洞班、日和田班)に配備した。
評価等	・計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持管理していかなければならない。 ・老朽化した車両を更新整備することにより、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・救助工作車、警防搬送車の更新(高山消防署)に必要な経費を計上 ・ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車の更新(消防団)に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、耐震性貯水槽整備計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 既存の消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき、耐震性貯水槽を整備する。 損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持)
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	35,499	34,168	39,700			
特定財源						
国費 (消防防災施設等整備費1/2)	5,386	5,386	5,386			
県費 ()						
その他(地方債、コミュニティ助成雑入)	14,000	17,000	12,000			
一般財源	16,113	11,782	22,314			
個票枝番	主な事業内容					
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体	18,000	17,985	20,200		
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入	2,199	2,117	4,000		
	水利施設の維持管理等	15,300	14,066	15,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		36,140
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
66,667	36,140	36,140	△ 3,560	
5,486	5,486	5,486	100	
	6,000	6,000	△ 6,000	
61,181	24,654	24,654	2,340	
査定額	説明			
	※ 耐震性貯水槽更新2基、撤去3基			
	※ 小型動力ポンプ4台			
13,240				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づく既存防火水槽から耐震性貯水槽への更新を行った。(2基 久々野、朝日) 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を修繕した。(6基) 防火水槽の清掃を行った。(土砂除去等による環境改善と水量維持)(4基)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき、引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画・消防資器材整備計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・防災課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材については、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の育成、組織の強化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の更新及び修繕 自主防災組織の訓練指導
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「消防・救急体制が整っている」と感じている市民の割合	82.6%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	23,100	21,931	28,630			
特定財源						
国費(消防施設等整備事業費)						
県費		290				
その他(コミュニティ助成雑入、白川村受託事業収入)	800	800				
一般財源	22,300	20,841	28,630			
個票枝番	主な事業内容					
	消防資器材の整備	17,300	17,031	18,530		
	初期消火資器材格納箱の色彩変更(赤色→茶色)	1,500	594			
	消防回装備品	4,300	4,306	10,100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
41,620	18,110	18,110	△ 10,520
4,906	1,200	1,200	1,200
900	0	0	0
35,814	16,910	16,910	△ 11,720
査定額	説明		
9,010			
9,100	簡易デジタル無線機他		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。 救命講習用訓練人形・AEDトレーナーを整備した。 初期消火資器材について、格納箱26基、ホース54本を更新整備した。 消防ホース(常備、団)90本を更新整備した。 消防団員用の救命胴衣を165着整備した。 県操法大会応援用のほり旗1基を整備した。 消防団の消火用資器材(吸管、操法用ホース等)を更新整備した。 水害用救助胴長を10着整備した。 景観重点区域及び市街地景観保存区域の格納箱80基を塗装した。 特殊災害資器材(レスキューソー・レシプロソー・救助用支柱等)を整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全を確保し、現場対応力の充実強化が図られた。 老朽化した初期消火資器材を更新し、自主防災組織の活動の安全を確保することに繋がった。 消防団員への安全装備品の整備により、団員の安全管理及び現場対応力の強化が図られた。 特殊災害、水害救助用資器材を整備し、地震、噴火等災害発生時の現場対応力の強化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による活動の安全を確保する。 消防団活動に必要な資器材については、火災だけでなく地震、風水害等あらゆる災害に対応可能な資器材の整備を検討する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上 消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに